

食品安全委員会の 2 月の運営について（報告）

1．食品安全委員会の開催

第 129 回 2 月 2 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（遺伝子組換え食品「パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ 55 - 1 系統」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品安全委員会の 1 月の運営について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について報告（1 月分）

第 130 回 2 月 9 日（木）

- ・OIE / BSE コード改正について農林水産省からの報告

第 131 回 2 月 16 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（新開発食品「キリン細胞壁破碎アガリクス顆粒」、「仙生露顆粒ゴールド」及び「アガリクス K₂ A B P C 顆粒」）に関する厚生労働省からの説明
- ・企画専門調査会における審議状況について報告（「平成 18 年度食品安全委員会運営計画（案）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・微生物・ウイルス合同専門調査会における審議状況について報告（「食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（案）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全基本法第 21 条第 1 項に規定する基本的事項のフォローアップについて報告

第 132 回 2 月 23 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品「ダルマジン」）に関する農林水産省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（遺伝子組換え食品「L - グルタミン」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品安全基本法第 23 条第 1 項第 5 号に基づく調査審議（「飼料中の残留農薬基準の設定」について農林水産省からの説明及び審議）
- ・せき柱を含む仔牛肉輸出に関する米国政府の調査報告書の提出について厚生労働省及び農林水産省からの説明
- ・添加物専門調査会における審議状況について報告（「アルギン酸アンモニウム」、「アルギン酸カリウム」及び「アルギン酸カルシウム」に関する審議結果について、

- 国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
・食品安全モニターからの報告について(1月分)

2 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第14回 2月13日(月)

- ・「平成18年度食品安全委員会運営計画(素案)」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(2) リスクコミュニケーション専門調査会

第22回 2月20日(月)

- ・効果的なリスクコミュニケーションの推進を図るための手法について検討
- ・食育推進基本計画策定の進捗状況について報告し、食育推進基本計画案における食品の安全性関係の目標等について検討
- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告

(3) 添加物専門調査会

第29回 2月8日(水)

- ・酢酸 -トコフェロールについて検討

第30回 2月28日(火)

- ・ヒドロキシプロピルメチルセルロースについて検討

(4) 農薬専門調査会

第41回 2月1日(水) 非公開

- ・「ピラクロニル」及び「メトコナゾール」について検討し、
座長が確認の上、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 動物用医薬品専門調査会

第45回 2月21日(火) 第15回肥料・飼料等専門調査会と合同で開催

- ・「食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて(案)」及び国民からの意見・情報に対する回答案について検討し、一部修正の上、動物用医薬品専門調査会及び肥料・飼料等専門調査会に報告した後、食品安全委員会に報告することを決定

第46回 2月24日(金)

- ・「エンロフロキサシンを有効成分とする製造用原体(バイトリル原体)」、 「鶏

の飲水添加剤(バイトリル10%液)」、「牛の強制経口投与剤(バイトリル2.5%HV液)」及び「牛及び豚の注射剤(バイトリル2.5%注射液、同5%注射液、同10%注射液)」の再審査について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第47回 2月24日(金) 非公開

- ・ 「エトキサゾールを主成分とする動物用殺虫剤及びエトキサゾール(原薬)」及び「d-クロプロステノールを有効成分とする牛及び豚の注射剤(ダルマジン)」について検討

(6) 微生物専門調査会

第13回 2月15日(水)

- ・ 小麦粉を主たる原材料とする冷凍パン生地様食品について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(7) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第37回 2月27日(月)

- ・ 「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ *Bt10*」及び「パパイアリングスポットウイルス抵抗性パパイア55-1系統」について検討
- ・ 遺伝子組換え食品(微生物)の安全性評価基準の作成について検討

(8) 新開発食品専門調査会

第33回 2月20日(月)

- ・ 特定保健用食品3品目(「オーラルヘルスタブレット カルシウム&イソフラボン」、「イソフラボンみそ」及び「大豆イソフラボン40」)並びに「大豆イソフラボンの安全性評価について」(修正案)について検討し、これらに関し、再度修正案を作成し、座長が確認し各委員の意見を聞いた後、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定
- ・ キリン細胞壁破砕アガリクス顆粒について検討
- ・ コエンザイムQ10の安全性について検討

(9) 肥料・飼料等専門調査会

第15回 2月21日(火) 第45回動物用医薬品専門調査会と合同で開催

- ・ 「食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて(案)」及び国民からの意見・情報に対する回答案について検討し、一部修正の上、動物用医薬品専門調査会及び肥料・飼料等専門調査会に報告した後、食品安全委員会に報告することを決定

第16回 2月28日(火)

- ・専門委員の改選及び専門調査会の運営等について説明、座長の選出
- ・動物用医薬品・肥料・飼料等合同専門調査会(薬剤耐性菌に関するWG)における審議状況について説明
- ・食品に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度の導入及び飼料の残留農薬の基準について報告

(10) 汚染物質・化学物質専門調査会合同ワーキンググループ

第1回 2月17日(金)

- ・合同ワーキンググループの運営等について説明、座長の選出
- ・清涼飲料水に係る化学物質について検討

3. 意見交換会等の開催

意見交換会

2月 3日(金) 食品に関するリスクコミュニケーション(「魚介類の摂取と水銀に関する正しい理解」についての意見交換会) < 仙台市 >

- ・食品安全委員会、厚生労働省・東北厚生局、農林水産省・東北農政局、宮城県及び仙台市の主催により、「魚介類の摂取と水銀に関する正しい理解」についての意見交換会を宮城県仙台市にて開催し、厚生労働省から、「妊婦への魚介類の摂取と水銀に関する注意事項について」のテーマで講演を行うとともに、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

2月10日(金) 「食品の安全・安心についてのリレー講義」 < 市川市 >

- ・食品安全委員会及び和洋女子大学の主催により、「食品の安全・安心についてのリレー講義」を開催し、寺田委員長から「我が国の食品のリスク分析と食品安全委員会の役割」、小泉委員から「メチル水銀の話」、見上委員から「牛海綿状脳症(BSE)と鳥インフルエンザの話」、寺尾委員長代理から「遺伝子組換え食品は安全か」の各テーマで、それぞれ講演を行った後、会場参加者との意見交換を実施

2月14日(火) 食品に関するリスクコミュニケーション(残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会) < 広島市 >

- ・食品安全委員会、厚生労働省・中国四国厚生局、農林水産省・中国四国農政局、広島県及び広島市の主催により、「残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会」を広島県広島市にて開催し、厚生労働省から、「残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について」のテーマで説明を行うとともに、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

2月21日（火） 食品に関するリスクコミュニケーション（農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会）＜高松市＞

- ・食品安全委員会、厚生労働省・中国四国厚生局、農林水産省・中国四国農政局及び（独）農林水産消費技術センター岡山センターの主催により、「農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会」を香川県高松市にて開催し、関澤純リスクコミュニケーション専門調査会座長（徳島大学総合科学部教授）から、「食品のリスクアナリシス - 農薬のリスクアナリシスを例として - 」のテーマで講演を行うとともに、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

2月24日（金） 食品に関するリスクコミュニケーション（かび毒に関する意見交換会）＜大阪市＞

- ・食品安全委員会、厚生労働省・近畿厚生局、農林水産省・近畿農政局及び（独）農林水産消費技術センター神戸センターの主催により、「かび毒に関する意見交換会」を大阪府大阪市にて開催し、芳澤宅實かび毒・自然毒等専門調査会専門委員（香川大学名誉教授）から、「かびとかび毒 - 食品汚染と健康影響 - 」のテーマで講演を行うとともに、農林水産省から、「かび毒のリスク低減とGAP」のテーマで、生産現場代表として（有）グリーンにしはりま代表取締役社長の太田和男氏から、「小麦栽培における赤カビ病防除と対策」のテーマで報告を行い、会場参加者との意見交換を実施

2月24日（金） 食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会）＜鹿児島市＞

- ・食品安全委員会、厚生労働省・九州厚生局、農林水産省・九州農政局、鹿児島県及び鹿児島市の主催により、「輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会」を鹿児島県鹿児島市にて開催し、厚生労働省から、「輸入食品の安全確保について」及び「残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について」のテーマで説明を行うとともに、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

2月28日（火） 食品に関するリスクコミュニケーション（大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価（案）に関する意見交換会）＜大阪市＞

- ・食品安全委員会の主催により、「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価（案）に関する意見交換会」を大阪府大阪市にて開催し、池上幸江新開発食品専門調査会専門委員（大妻女子大学教授）から、「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価（案）について」のテーマで講演を行うとともに、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

4 . その他

- ・「大豆及び大豆イソフラボンに関するQ & A 」をホームページに掲載